

V 新型コロナウイルス感染症への対応

中華人民共和国の湖北省武漢市で原因不明の肺炎が集団発生したことが、令和元年12月下旬に武漢市保健当局から発表された。そこから始まった新型コロナウイルス感染症の流行は、令和2年1月16日には日本でも一例目の患者が確認され、その後、パンデミック（世界的流行）となって拡大した。

当所の主な対応は以下のとおりである。

月 日	内 容
令和2年 1月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・県内各保健所に「新型コロナウイルスに関する帰国者・接触者相談窓口」を設置。電話相談に随時対応。（その後「帰国者・接触者相談センター」に位置付け） ・管内医療機関に専用外来を開設（その後「帰国者・接触者外来」に位置付け）
2月18日	秩父郡市医師会と対応について協議（以後、随時実施）
2月21日	秩父地区地域看護推進会議の内容を変更し、管内病院・有床診療所・透析医療機関・市町に対して新型コロナウイルス感染症について情報提供及び院内感染予防策について研修を実施。
〃	秩父郡市医師会主催のシンポジウム「新型コロナウイルス感染症」に保健所長が講師として出席し、医師会員向けに「新型コロナウイルス対応について、各医療機関へのお願い」と題して講演。
2月25日	秩父地域振興センター主催の秩父管内臨時地域機関会議に保健所長が出席し、警察・県立学校を含む秩父地域の県地域機関に情報提供。
3月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・秩父福祉事務所主催の福祉施設研修会に保健所長が講師として参加し、「施設における新型コロナウイルスの感染予防対策について」と題して講演。 ・福祉施設への入館者、職員向けに、感染拡大防止のリーフレットを独自に作成し、上記研修会にて配布。（58、59頁参照）
3月5～12日	管内病院を個別訪問し、院内感染対策の現状及び課題について情報交換。
3月6日	秩父郡市医師会臨時理事会に保健所長が出席し、今後の対応について説明。
3月9日	1市4町連絡会議に保健所長が出席し、各首長に今後の対応について説明。
3月11日	秩父市内の医療機関において新型コロナウイルス陽性者が発生。（患者の居住地はさいたま市）
3月16日	秩父郡市医師会臨時総会に保健所長が出席し、今後の対応について説明。
3月24日	新型コロナウイルス感染防止リーフレットを独自に作成し、市町、県地域機関、医師会、福祉施設に配布。（60頁参照）